

第6回ドローンレースチャンピオンシップ 実施要項

2024年9月9日

1 趣旨

児童・生徒から一般までドローンに興味関心を持ってもらい、ドローンの安全と基礎的な飛行に関する知識と技能の学びを通して交流を図る。

2 日程

2024年11月2日（土）～3日（日） ※各部門の日程については実施規則に記載

3 会場

横手清陵学院中学校・高等学校 横手市大沢字前田 147 番地の 1 （内履きをご持参ください）

横手バスターミナルから山内線または横手清陵学院線に乗車 10 分・駐車場有

4 開催部門

（1）ベーシック部門・ミドル部門

（2）エキスパート部門※（FPV）

※TOHOKU TINY DRONE LEAGUE 2024 を兼ねます

5 お問い合わせ

会場や競技に関するお問い合わせはこちらへお願いいたします。勤務時間中や早朝深夜は電話への対応が難しい場合がありますので、メールでのお問合せにご協力ください。

お問い合わせ内容と回答については、大会参加者に周知するために NPO 法人ソーシャレックの HP に「Q&A」という形で公開いたします。

<https://npo-social eq.com/>

第6回ドローンレースチャンピオンシップ 実行委員会

渡邊 義典 (WTW AKITA)

秋田県大仙市大曲住吉町 1-73-22

電話：090-7934-8840

メール：nabenori0530@yahoo.co.jp

実施規則

ベーシック部門・ミドル部門

2024年9月9日

1 開催部門

(1) ベーシック部門（小学生・中学生クラス）

2～4名のメンバーで構成されたチーム（※メンバーには代表者が含まれること）

※代表者は保護者、児童が通う学校の教員、ドローン教室の先生などとする。

代表者がドローン飛行前の準備作業やプログラムの助言を補助することは認めるが、プログラミング作業をすることは認めない。

(2) ミドル部門（高校生クラス）

2～4名のメンバーで構成されたチーム

2 参加資格

(1) 今大会は室内で競技を実施するため、競技に参加するための免許等は必要しない。

(2) チーム全員が安全に飛行できる基礎的な技能を習得していること。

3 日程

受付・機体検査	9:00～ 9:30
開会式・競技説明	9:30～ 9:50
練習ステージ	10:00～10:30
ミッション1	10:30～11:00
ミッション2	11:00～11:30
表彰・閉会式	11:40～12:00

4 競技規則

別紙「ドローン de アーチェリー」に記載

実施規則

エキスパート部門 (FPV)

2024年9月9日

1 参加資格

レース開催時に年齢が9歳以上であり、アマチュア無線4級以上の国家資格を所持していること。

レースに使用する画像伝送無線機器を運用するためのアマチュア無線局を開局、または社団局に所属していること。

2 日程

受付・車検・開会式	10:00～10:30	
練習ステージ	10:30～12:00	
予選ステージ	13:00～14:00	
決勝ステージ	14:00～15:00	
表彰・閉会式	15:20～15:30	※参加人数により変更有り

3 大会運営

今大会は大会実行委員が大会進行とジャッジを行う。

運営の補助員6名程度はNPO法人ソーシャレック、WTW Akitaから選出する。実行委員および補助員は選手が兼ねることができる。

大会の運営方法および機体レギュレーションはTOHOKU TINY DRONE LEAGUE 2024に準拠しており、大会結果はTOHOKU TINY DRONE LEAGUE 2024の年間ポイントとして集計される。

4 安全対策

- 観戦者や操縦者に対して1m以内をドローンが飛行することがないように間隔を取る。
- 会場でバッテリーを充電する際は火災等の事故を予防するためリポバック等安全対策を取ること。

5 競技規則

- 参加者は最大2機まで機体検査の登録をすることができる。競技に使用する機体は競技者が所有するものとし、他の競技者との共用は認めない。
- 機体検査では次の事項について検査する。
 - 機体レギュレーションに適合していること
 - プロペラガードが装着されていること
 - 注意事項への同意

(3) 機体の修理などでパーツ構成や重量に変更がある場合は再検査が必要となる。プロペラの交換に関してはその限りでない。

(4) フライト方法

- ① ドローンは最大 3 機同時に飛行を開始しレースを行う。大会は練習ステージ、予選ステージと決勝ステージに分かれ、予選ステージは最低 1 ラウンド最大 3 ラウンド行う。予選ステージの結果により決勝トーナメントの組み合わせを決定する。
- ② スタート後のコース内への立ち入りは認めない。機体のトラブルやバッテリー切れなどで飛行の継続が困難となった場合はその時点までの飛行距離を記録とする。
- ③ 機体が反転し、復旧が困難な場合は競技補助員によるコース上への置きなおしの後、レース継続を認める。置きなおしの時間は競技の時間を含むこととする。

(5) 機体レギュレーションは次のとおりとする。規定するサイズ、重量、バッテリーなどその時々で変化する可能性があるため、1%の誤差は認めるものとする。

- ① バッテリーを含む、最終的に飛行する時の重量が 40g 未満であること。
- ② フレームサイズは 65 サイズとし、使用できるプロペラの最大直径は 35mm とする。
- ③ 機体に搭載するバッテリーはリチウムポリマーバッテリー1本とする。コネクターの形状は制限しない。充電完了時の電圧が 4.35V を超えないこと。
- ④ 使用するモーターに制限は設けない。
- ⑤ VTX(映像送受信システム) で利用する周波数は 5705MHz(E1)、5740MHz(F1)、5800MHz(F4) の 3 チャンネルで最大出力は 25mW とする。デジタル VTX の使用は認めない
- ⑥ FPV 映像内に受信された映像で選手を判断できる識別マークの表示を行うこと。識別マークはアマチュア無線のコールサイン、名前やニックネームなどとする。
- ⑦ プロペラガードの装着は必須とする。プロペラガードよりプロペラが高い位置にあってはならない。プロペラガードが傷ついていたたり、めくれている場合は利用することができない。
- ⑧ 機体に LED の取り付けを義務づける LED の取付方法は PikaTail(発光部が長さは 20mm 以上)、または WHOOP 部の LED 全周巻きとする。

PikaTail の取り付け方法 → <https://youtu.be/pCc7oWGLC8M?si=dcscpXxxv5SwEY6a>

(6) コントローラー (プロポ・Transmitter) (上記アドレスまたは QR コード参照)

コントローラーは技術基準適合証明がされたものを利用する。

コントローラーや外部モジュールにより送信出力が変更できる場合、電波法等の法令を遵守すること。

(7) コースの公開

コース図 (案) は、大会開催 14 日前までに大会 HP 上に公開する。



第1回 (2019年8月17日秋田県横手市)

https://www.youtube.com/watch?v=9_fh002B2UU

第2回 (2020年10月24日秋田県湯沢市)

<https://youtu.be/wPEBpJ0JVHQ>

第3回 (2021年10月2日秋田県湯沢市)

https://youtu.be/l-k6zT_e8C0

第4回 (2022年10月2日秋田県湯沢市)

<https://youtu.be/GzJKPjBeif8>

第5回 (2023年9月30日秋田県湯沢市)

<https://youtu.be/AvJrMVPwHP8?si=1yYoCdolj7arq2NG>

第1回



第2回



第3回



第4回



第5回

